

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

令和4年3月定例会

議席番号2番
高橋 速円議員

1. “情報難民” 解消について

議会サロンで町民のみなさまと面談すると、町の施策が周知されていないことに驚く。真剣に取り組み、その解消に取り組まなければいけない。コロナ禍で先行き不透明の昨今、町の“情報”を町民に確実に届ける方策を構築する観点から以下町長の所見を伺う。

①スマホ教室が行われているが、その評価。

②新規スマホ購入者に恩典を付加できないか、町ホームページにアクセスすると恩典を付加できないか。

2. “町内費（字費）”について

“町内費”は住民自治と承知しているが、空き家に関わる町内費をめぐって各町内（字、あるいは集落）ではいろいろ煩雑な問題が生じているという苦情を聞いている。

町は空き家所有者情報を区長からの要請がある場合は公開してもよろしいのではないか。家屋敷があることは、災害を考えるとそれだけでリスクがあることになる。町長の所見を伺う。

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

令和4年6月定例会

議席番号2番
高橋 速円議員

新型コロナウイルス感染症に関する町支援策

新型コロナウイルス感染症に係わる町独自の支援策には基本的に諒とする。

しかし、特定の業種、事業者等への支援はそれとして、より「広く薄く」町民への支援策作成はないか。対処的ではなく将来的にも効果が見込める施策はないか。

このことから以下3点質問する。

1 水道料金は町独自の裁量で策定できる。減免措置やシステム改修等、支援策の俎上に挙げたことはないか。

2 昨年度行われた非課税世帯への支援策をどう認識しているか。

3 大学・短大・専門学校等、町内外で学業専念している学生への支援、及び子育て世帯への支援策を本年度改めて検討したことはないか。

以上、町長の所見を伺う。

一般質問通告書（一問一答方式）

質 問 者

令和4年12月定例会

議席番号2番
高橋 速円議員

1 災害時の職員対応と避難所運営について

①災害時、先ず自助、共助で避難をして公助があると理解しているが、町民の認識と職員の現実的な対応を想定するとかなりの乖離があり、この乖離を縮めないと被害を最小化できないと考える。

町には限界があることを平常時から町民に強く伝えるべきではないか。町長の認識を伺う。

②避難所は避難された町民の運営でなされることになっている。しかし町民はこのことをほとんどの方が把握していない。

これについて町長はどう認識しているか。

2 天領の里「イベント広場」整備について

①広場の凹凸を整地してほしい、と以前から発言がなされている。本年度調査等に取り掛かかると答弁があったが、その進捗について伺う。

②バイクの聖地と巷間で謂われているが、地元では騒音等で問題がある。そこで提案する。「嫌悪」するのではなく「歓迎」する町、を謳うことはできないか。「歓迎」することで問題を最小化し天領の里の売上げ増進に繋がられないか。町長の所見を伺う。